

2020年とりまとめに向けて

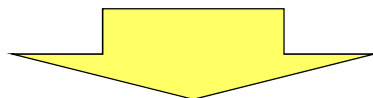
令和2年2月10日

○「国土管理専門委員会」は、

「「国土の適切な管理による安全・安心で持続可能な国土の形成」が必要とされていることから、人口減少に対応しつつ、国土を適切に管理するとともに、これを好機ととらえた自然環境、生活環境等の改善を進めることにより、美しい国土を守り次世代に継承するための事項について調査する。

具体的には、人口減少に対応した国土の利用・管理のあり方、国民の参加による国土管理等について調査する」

ため、国土審議会 計画推進部会 に、平成28年4月に設置。



【2017年とりまとめ】（H29.5）

- ・ 国土利用・管理上の地域の課題に対し、国土利用計画（市町村計画）においてどのように対処できるか、改善すべき点は何かの整理・検討を実施。
- ・ 計画策定に対し、策定ノウハウを含めた事例集・マニュアルの作成、研修、専門家派遣などの技術的支援を提言。
→ 国土利用計画（市町村計画）に関する事例集、策定の手引きを作成・公表。

【2018年とりまとめ】（H30.6）

- ・ 市町村・地区レベルで持続可能な国土の利用・管理のあり方に悩んでいる住民及び行政担当者を主な対象として、地域の土地について改めて考え、土地の使い方を選択し、実現に向けた具体的なアクションを実行することを推進するために、課題と解決の方向性を整理し、関連事例集をとりまとめ。
- ・ その際、特殊な条件や特別なプレイヤーの存在を前提とした「ベストプラクティス」のみではなく、一般的な地域・集落でも可能な解決策をあらゆる地域・集落に普及していくことを意識。

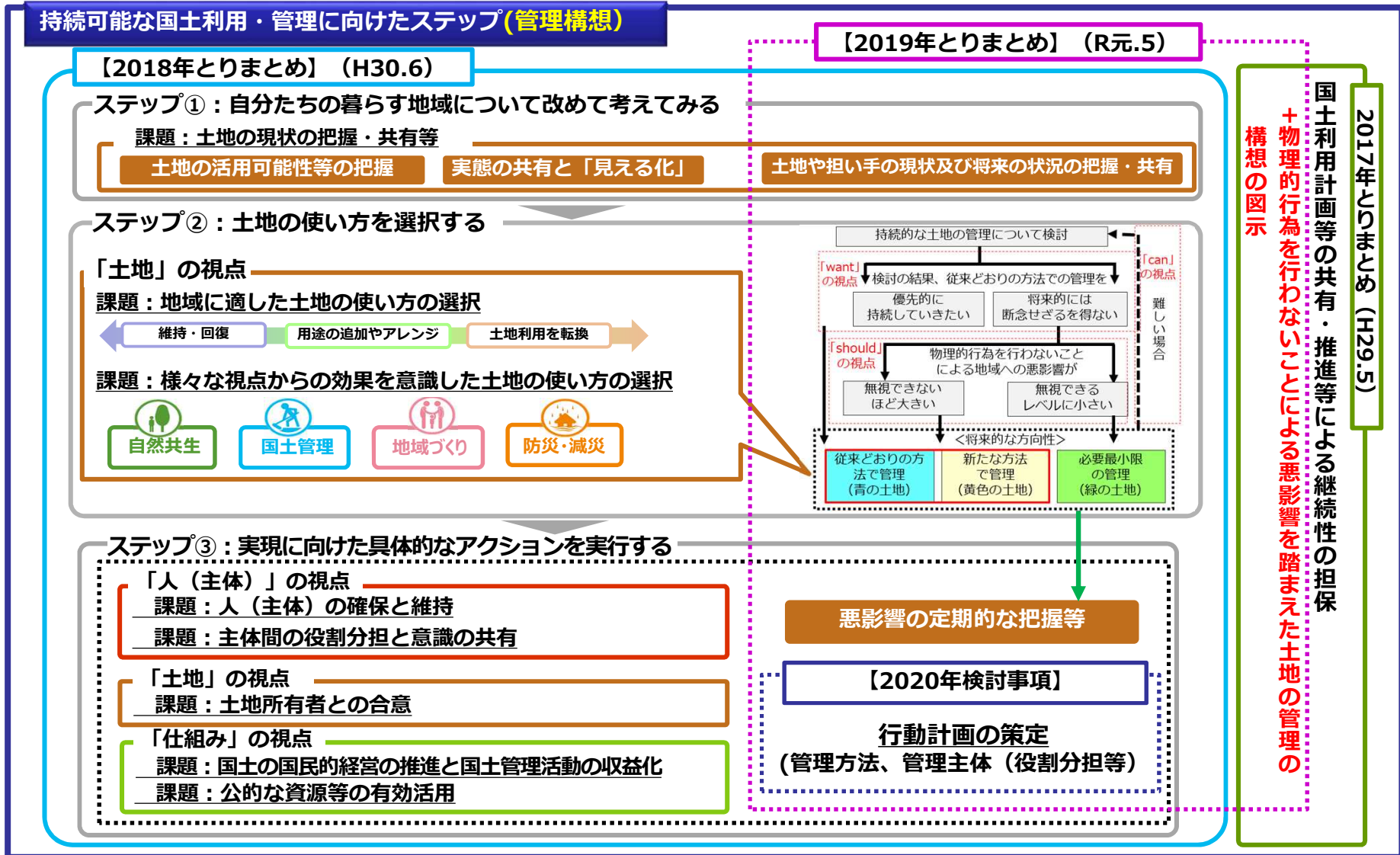
【2019年とりまとめ】（R元.5）

- ・ このままでは将来的に放置されていくことが予想される土地の管理のあり方について、深掘り。
- ・ 土地の放置により発生する悪影響のレベルに応じ、必要最小限の管理（悪影響の定期的な把握等のみを行う管理）を行うことも選択肢の一つとして、地域で土地の管理のあり方を検討していく必要性を提示。

【2020年検討事項】

- 都市郊外部（非農村部）における宅地を中心とした地域における土地利用の課題とその対応に関する対応方針（管理構想の適用可能性の検討）
- 管理構想の基本的枠組みの検討

○「国土管理専門委員会」では、国土形成計画や国土利用計画に位置づけられた「複合的な効果をもたらす施策」や「選択的な国土利用」という視点も踏まえつつ、人口減少下において、**持続可能な国土の利用・管理を推進するための課題とその対応策を調査・検討**



【目次】

1. はじめに
 - (1) 本委員会の検討の趣旨
 - (2) 用語の定義
2. 本委員会のこれまでの検討の経緯及び成果
3. 国土利用・管理を取り巻く現況
4. 人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のあり方
5. 今後の課題

[別添] 管理構想の指針について